



# 陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2026年1-3月号

Vol.72

## 支援者の皆様へ

支援者の皆様、いつもお祈りとご支援を心より感謝いたします。

昨年秋に引っ越して4か月が経ちました。転居したことで良かったことのひとつは、リビングと子どもの居住空間が区切られ落ち着いて話せる「カフェスペース（というと良く言いすぎですが）」のような空間が演出できるようになり、妻（純子）の友人・知人と深い交わりを持てるようになったことです。前の家の頃からそうでしたが、クリスチャンもそうでない方も様々な方が家に来て下さり、ある方は今まで読んでいなかった聖書を学び始め、ある方は夫婦関係や子育ての悩みを相談し、ある方はほっとできる居場所として時間を過ごしてくださっています。私（俊）の友人の性的マイノリティ当事者の方々も時折訪れてくださいます。この場所で主からの癒しや再生がもたらされ、寄る辺なき者の居場所として用いられることは3年前に他界した義父の願いでもありましたので、この光景を見てイエス様と共に喜んでくれていると良いな、と思っています。「公同の教会」とは違いますが、「神の国の小さな出張所」のように自宅が用いられていることはとても感謝なことです。

また、4月には次女（ななみ）が小学校に入学しますので、家族の生活リズムも多少変化しそうです。親というのは子どもが小さいときは「早く大きくなれ」と思い、子どもがある年齢に達すると「今のままでいてくれ」と思う身勝手な存在、と作家の重松清さんが『ビタミンF』という小説に書いています

が、その気持ちが少し分かる今日この頃です。長女が生まれたとき「良い父親でなく、笑っている父親になろう」というファーザリング・ジャパンというNPOの言葉に啓発されました。その志は今も変わらず、子どもが長じたときに「笑っている父親」として記憶されたいと思いながら過ごしています。



## 感謝

---

前回（2025年10-12月号）のプレーヤーレターで、FVIの財政状況の苦境を分かち合い、祈りとご支援のお願いをしました。それ以降の2か月で少なからぬ方々が応答くださり、大きな額の献金を「陣内俊を支える会」にお送りくださいました。すべての方に直接、個別に感謝を申し上げられないことは心苦しいですが、本当に感謝しております。「まだこの働きを続けていていいんだ」という勇気を私はいただきましたし、2024-2025年会計年度に大きな赤字（250万円）を出したFVIの財政も多少改善いたしました。改めて心より感謝申し上げます。また、具体的な行動に移してくださった方だけでなくレターを読んでくださった方々のお祈りのおかげでもありますので、祈ってくださったすべての方々にも心から感謝いたします。

性的マイノリティの方々への尊厳のために立ち上がる活動は困難も大きいですが、「福音に生きるとは何か」についてこの歩みから多くを教えられており、何より教会で不可視化され、尊厳を傷つけられてきた当事者の方々から最も多くのことを学ばせていただいています。今学んでいること、得ている経験は「福音の豊かさ」を知る経験でもありますから、いつの日かこの豊かさを「マジョリティ」の側にも還元し、抱擁できる日がくると確信し、マーティン・キングのいう「二重の勝利」を目指して歩み続けていきたいと思えます。

## 「アライのアライ」となってくれる当事者との出会い

---

この2年半、「福音的LGBTQ+アライ」を名乗って活動・発信をしてきました。活動と発信が空理空論にならないために当事者と直接会うようにとの所属教会の主任牧師の助言を受けて、性的マイノリティ当事者の交わりに参加し続けています。本田哲朗神父が『釜ヶ崎と福音』に記しているように、被抑圧者にキリスト者として連帯するとき、「あわれみ」という上から視線は傲慢に他なりませんし、「自分もマイノリティのような顔をする」のも白々しい欺瞞です。シスジェンダー（自認する性と出生時に割り当てられた性が一致する）／ヘテロセクシュアル（異性愛者）の私は、「マジョリティ社会の一員」であり、マイノリティ当事者を無知ゆえに差別し、今も偏見ゆえに傷つけている主体のひとりなのだ、ということを引き受け「代表して謝罪」する心を持ち、「もしそれでもよろしければここに居させてください、時間をかけて信頼してください」という姿勢で参加し続けました。

教会に傷つけられてきた性的マイノリティ当事者の方々の中に、「マジョリティの一員」として居続けることは入り組んだ意味で「二重のマイノリティ性」を引き受ける歩みでもありました。マイノリティ当事者の集いの中で「シス／ヘテロである私」は「反転したマイノリティ（少数者）」になります。そのコミュニティの中に同化するという欺瞞に逃げ込まず、自分が「傷つけてきた側」であるということを引き受け続ける歩みです。一方で「性的マイノリティを受け入れるべきでない」と考えるマジョリティの教会に行けば私はときに「裏切り者／信仰への反逆者」のような扱いを受けることもあります。そういう意味では「安住の場所」がない2年半でしたが、妻の支え、友の励まし、支援者の皆様の祈りによって歩んでくることができている。

そんな中、昨年の後半から変化がありました。少なからぬ当事者の方が「アライのアライ」として私とともに立つ、という意味表明をしてくださるようになったのです。ある方は私との「対談動画」の中で当事者としての経験を話してくださり、ある方は私とともに教会の礼拝に出席してくれ、ある方は共



に時間を過ごして慰めや励ましをくれ、ある人は私のために祈り、折に触れて励ましの言葉を送ってくれます。「俊さん、何か私たちにできることがありますか？」と、性的マイノリティ当事者の方々が言うてくださるようになったのです。この「信頼」を勝ち取るのに2年半の歳月がかかりましたが、その2年半は「二重の傷」を引き受ける歩みであると同時に、無自覚なマジョリティ特権に長らく浴してきた自らの中に今もこびりついている「差別」や「偏見」を当事者の方々から教えていただく歩みでもありました。今もまだ教えていただくことばかりですが、イエスが「貧しく辺縁化された存在」と連帯したのに倣い、私も当事者と連帯する歩みを続けていきたいと思ひます。

【写真】昨年知り合った「盟友」の藤井航氏。トランスジェンダー当事者として高校でジェンダー教育をし、各地で講演活動もしている。

## 団体名の変更と「被造物ケア」への召し

昨年10月のFVI総会にて、FVI「声なき者の友」の輪という団体名を「声なきものの友」の輪と改めることを決定いたしました。「者」から「もの」へ。この変更には「被造物ケア」の視点を反映させるという意図があります。FVIカタリストの柳沢美登里氏は2年前に埼玉県の農村部に移住し、「被造物ケア農業」を実践されていますし、私もまた被造物ケアをテーマとした『万物のいやし』という書籍の翻訳に携わりました。FVIを創設した2010年の時点でも「被造物ケア」は重要な課題だと認識していましたが、地球温暖化が「ティッピングポイント」を超える瀬戸際にあるという危機意識と「気候のレジームチェンジ」が2023年に起きたと言われる昨今、もはや気候変動と被造物ケアは「数ある問題のひとつ」というレベルを超えており、キリストの弟子の歩みの中心的な一部だと私は考えます。2023年に岐阜で開催された日本伝道会議（JCE7）の「東海宣言」の「5」にもこう記されています。「神の創造された美しい世界が、罪と墮落の影響を受けてうめいています。私たちの貪りの罪を赦してください。地球温暖化や環境破壊に歯止めをかけ、すべての被造物が調和して憩う世界の実現のために、私たちを被造世界の秩序の回復に仕える管理者として用いてください。」

そのような中、米トランプ政権は科学を否定し気候変動対策から身を引いており、日本にも気候変動懐疑論を唱える政党が現れています。神がつくられた傑作である被造物を愛するクリスチャンこそ、それに対抗して声を上げるべきと私は考えますが、悲しいことにクリスチャンの中にも「温室効果ガスによる気候変動は起きていない」というフェイクニュースに踊らされる人々があります。聖書全体が「被造物を大切にすること」を人間に命じているだけでなく黙示録11章18節には、神は「地球を滅ぼす者を滅ぼす（NKJ訳：destroy those who destroy the earth.）」と書いてあります。デイブ・ブックス氏はこう書いています。「私たちの社会が大気に有毒ガスをまき散らし、海を汚染し、地をゴミで埋め尽くし、地球を使い捨てのおもちゃのように扱っていることを神は気にかけているのでしょうか？ もちろん気にかけています。神が「非常に良い」と宣言されたものを破壊する者たちに対して、神の怒りは高まっています。」（『被造物ケアの福音』83～84頁）

思えば獣医師という専門分野を選んだのは、「神がお造りになった動物たちへの愛」を、幼少期から神が私に賜物として与えてくださっていたからだだと振り返っています。動物だけでなく植物、海、山、木々、この地球全体を守るために、祈り、発信し、活動していこうと決意を新たにしています。

## 祈りの課題

- ◇純子・かなえ・ななみ・俊の体調が守られ、感染症、事故などからも守られるように。
- ◇ななみが小学校1年生、かなえが3年生になります。家族の生活リズムにも変化がありますから、それぞれが主の栄光を現す歩みをしつつ、全体として調和するような均衡を見つけ、主を讃える家族としての歩みが続けられるように。
- ◇日々の発信・マイノリティ当事者との連帯と協働により、現代の教会や社会に「預言的な声」としての召しを今後も果たしていくことができるように。

## 2026年3月以降の主な活動予定

月 日	内 容	場所、補足
3月7日	「Life コネクト」でメッセージ	シオンの群教会（中野区）
3月22日	礼拝説教	幡ヶ谷バプテスト教会
5月31日	礼拝説教	シオンの群教会（中野区）
5月12～15日	FVI 執行役員会	万座温泉ホテル（群馬県）
随時継続的に	教会を建て上げる情報発信／訓練／啓発（エペソ4:12）	国内各地／オンライン

\* 上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

## 連絡先（奉仕・各種仕事のご依頼はこちらへ）

陣内への Email [shun@karashi.net](mailto:shun@karashi.net) 無料メルマガ、YouTube 放送、Podcast、ブログなど→「陣内俊」で検索

## ご支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座  
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」  
(同封の振込用紙がご利用いただけます。)

- \* 振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
- \* 振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、**振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。**お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
- \* Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。